



社協だより

93
2017.10.6発行

住みたいまち大刀洗 住んでよかった大刀洗町



- 赤い羽根共同募金が始まります
- ボランティア入門講座報告
- 小地域協議会のページ
- 中学生職場体験学習
- 笑顔キラキラ☆保育園だより
- ミニデイ元気に開催中!
- 中学校より義援金をいただきました



北山隈ミニデイ

読み聞かせボランティア「お話しぼつとたいむ」による親子向けスキンシップをミニデイの会員同士で楽しみました。おとなもさわってもらうと嬉しいんですね!

社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会

〒830-1201 大刀洗町大字富多819
TEL/0942-77-4877 Fax/0942-77-6220

大堰保育園

〒830-1205
大刀洗町大字守部465-5
TEL/0942-77-1402

本郷保育園

〒830-1211
大刀洗町大字本郷899-1
TEL/0942-77-2220

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



備えあれば憂いなし、
台風対策を!

赤い羽根共同募金運動が始まります

運動期間 10月1日～12月31日

共同募金は、通称「赤い羽根募金」とも呼ばれ、全国一斉に行われる募金運動です。地域の福祉活動などに役立てるための民間の募金で、その地域の実情に合わせて柔軟に活用できるという特徴があります。また、大規模災害の備えとして募金額の一部が積立てられ、昨今発生している災害時の活動資金として活用されています。

今年も10月1日より募金運動が始まりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

◆募金の方法

●戸別募金（1世帯700円）

区長さん等の協力を得て、世帯別に募金をお願いしています。

●事業所募金

町内の事業所の皆様に募金をお願いしています。

●募金箱設置

小中学校や金融機関に募金箱の設置をお願いしています。

●赤い羽根自販機

飲料代の一部が寄付されるしくみです。大刀洗町では、ふれあいセンターと就業改善センターに設置しています。

●イベント募金

ドリームまつり等で共同募金ブースを出店し、売り上げの全額を募金としています。



◆募金の活用

昨年お寄せいただいた募金の配分結果は、今年度の町の地域福祉活動に役立てられています。



●高齢者福祉活動費（430,000円）

老人クラブ支援、独居高齢者味噌配布



●児童・青少年福祉活動費（585,000円）

福祉協力校事業、保育園福祉推進費 他



●障害児・者福祉活動費（190,000円）

身障協会支援、家族会支援、車いすバスケット大会支援 他



●住民福祉活動費（1,989,300円）

ミニデイサービス事業、社協だより

福岡県共同募金会大刀洗町支会（大刀洗町社会福祉協議会）

大刀洗町大字富多 819 ぬくもりの館大刀洗内 TEL / 77-4877 FAX / 77-6220

ボランティア入門講座

開催日：平成29年9月9日（土）
 場 所：ドリームセンター2F展示ホール
 参加者：112名
 講 師：NPO法人ミディエイト理事 濱中 美紀 氏



毎日をいきいき元気に！ 目からウロコのよか余暇講座

「ひとをつくる、まちをつくる、一人一人が主人公に」をテーマに、協働のまちづくり・地域福祉活動を推し進めている濱中美紀氏を講師に招き、ボランティア活動の魅力についてお話を伺いました。

■そもそも、ボランティア活動の特性とは？

- 【自発性】自らの思いで自発的に行う 納得できなければならない
- 【無償性】見返りを求めない 足りない労働力ではない
- 【公益性】誰でも参加でき、不特定多数の利益につながる
- 【創造性】自由な発想、地域の声を活かすことができる

■自発的な思い・参加のきっかけは身近なところに

ボランティア活動のきっかけは、「自分の趣味や経験を誰かのために活かす」「困りごとのある人の手助けをする」など、実は身近なところにあります。



高齢者の見守り



地域で花植え

■自発的だからこそ、無理せず自分にあった活動を

自発的に始めた活動でも、時には疲れたり上手いかなかったり、自ら進んで始めた活動だからこそ大変なことも…。そんな時は、活動を減らしたり、思い切って休んだりすることも必要です。活動の頻度・内容など、自分に合ったペースややり方で活動するのが長つづきの秘訣です。



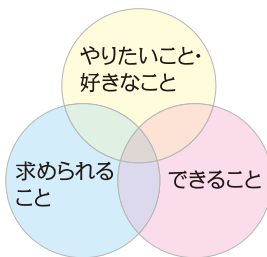
子どもの見守り

■ボランティア=いきいき元気？

～心が満たされる法則～

では、少なからず大変なこともあるボランティア活動の魅力は何でしょうか？それは、やりたいことができるだけでなく、その活動が誰かからあるいは地域から喜ばれ「求められる」ことにあるようです。求められることで心が満たされ、ボランティア自身をいきいき元気にするとのことでした。

心が満たされる法則



参加者アンケートより

- 余暇を利用して何かしたいと思った
- 自分がしている活動に少し自信を持った
- 地域の困っている人の力になりたいと思った
- やりたいこと・できることのバランスをとり、無理なく続けることが大切
- 引き受けすぎない、断る勇気を持つことが大事

◆町で暮らす◆を支えるしくみ

〜いつまでも大刀洗町で安心して暮らすために〜

今回は、ある日の小地域協議会であがった「移動」に関する話をご紹介します。

きっかけは「(高齢の)Aさんが、事故をきっかけに運転免許証を返納されて、買い物に行けずに困ってあるみたい。自分たちもいつか免許証を手放すときがあるよなあ。」との話から、移動について考える機会となりました。

きっかけは「(高齢の)Aさんが、事故をきっかけに運転免許証を返納されて、買い物に行けずに困ってあるみたい。自分たちもいつか免許証を手放すときがあるよなあ。」との話から、移動について考える機会となりました。

◆他人事でない

高齢者の移動手段

いま、高齢ドライバーによる重大事故が増えていることが社会問題となつていきます。そこで、75歳以上の免許証更新の際に検査や講習が必要になったり、他市町村では免許証の自主的な返納を勧めたりする制度ができています。

メモ
運転免許証の自主返納制度とは？

加齢によって運転に不安を感じる方などが、自らの意思で運転免許証の取り消しを申請できる制度です。福岡県では、昨年7,795人が自主返納されています。事業所や自治体によっては自主返納された方に対して、交通機関の利用割引など特典が設けられているところもあります。

このような中で、大刀洗町では自主的に返納する方もいれば、「車以外の移動手段がない！」との理由から、免許証をなかなか手放せないという方が大半のようです。また、認知症になつてしまつたと返納を考えつかなくなることもあり、そうなると周囲が対応に困ることもあるようです。

国でも、制度と併せて、高齢者が移動しやすい環境

◆大刀洗町に合ったしくみを

を整備する検討が進められてはいますが、地域性や個人の要望に細やかに対応することが難しいのが現状です。

皆さんからは、「せめて、買い物・病院・金融機関・駅に行く手段があればいいな。」「コミュニティバスも良いが、運行回数や経路を考えて、行きたい時にすぐに行ける良い方法はないかなあ」などの意見もありました。今は近所での乗り合わせや家族に頼むなどをされている方が多いようですが、今後は大刀洗町に合った「移動」や「買い物」「通院」などの手段を考えると必要になっていくと感じました。

職場体験学習

8月23日～25日の3日間で、大刀洗中学校の生徒2名が職場体験学習にやってきました。社協の行う活動の話や、地域に出て町民の方と話をしたり盛りだくさんの内容でした。25日の午前中には、朝倉市の災害ボランティアセンターへ行き、スタッフとして運営を手伝い、活動に向かうボランティアの方々に「行ってらっしゃい」と元気よく声かけをしてきました。

初めての人や場面にも元気よく挨拶をし、地域の皆さんからは「頑張ってるね」とあたたかい言葉をかけられていました。



朝倉市災害ボランティアセンターで、支援に出かけるボランティアさんに給水のお手伝いをしました。

大堰保育園

お月見会

9月9日！何年ぶりかのキラキラお天気のなかでのお月見会！
親子みんなで楽しく参加♪みんなの笑顔もキラキラ☆
ヨーヨーたくさんとれるかな！(^^)



最後のプール遊びへ、いざ!!

おじいちゃんおばあちゃんにお手紙!(^^)!



笑顔キラキラ☆ 保育園 だより

本郷保育園

防災の日

避難訓練だけでなく、実際に防災食を作るところを見たり、給食で食べたりしました。「これでご飯ができるの?」と不思議そうな子どもたちの顔がみられました。



重たいけどがんばるぞ~

いっぱい練習したので見てください。



ミニデイ元気に開催中!



稲数ミニデイ…レイをかけたなら私も踊れそう!



西大刀洗ミニデイ…みなぎるパワーもらったよ



守部ミニデイ…今年も完成!願いが届くよ!



鳥飼ミニデイ…若さは努力が一番



南本郷ミニデイ…最後はみんなで炭坑節~!



鳥飼ミニデイ…鳥飼のアイドルスター!知ってました?

語ろう会だより

(障がい者当事者および家族の会)

代表 森 蘭子

「語ろう会」は、障がいを持つ人も持たない人も共に語らう場として、月1回自由に意見交換をしています。9月の例会は「障がい者福祉の話を聞こう」をテーマに専門の方から障害者就労継続支援A型・B型等についてお話を伺いました。

講師の「今後は、パソコンを使った Web 解析等の仕事をすすめることも考えている。引きこもりの状態にある人や外見から障がいかわからない人の中には夜間の方が活動しやすい人もいるので、そういう特性を持った人たちにも取り組みやすいのではないかと」の話にとっても共感しました。障がい者を一般社会の常識に合わせるのではなく、障がいの特性に合わせて就労を考える…そんな考え方がいいなと思いました。

定例会:毎月第1火曜日 午後7時30分~9時 ぬくもりの館

《お知らせ》

今年のドリームまつりでは、スーパーボールすくいのイベントをします。たくさん子どもたちとのふれあいを楽しみにしています。ぜひ来てね! (11/12・日)

大刀洗中学校より義援金をいただきました



柳社協会長 安丸町長 飯田生徒会長 坂田校長

この度の九州北部豪雨を受け、大刀洗中学校が再資源回収で得た収益金から10万円を、災害義援金として寄付してくださいました。寄せられた義援金は、福岡県共同募金会で集約され、福岡県が設置する義援金配分委員会を通じて、被災された方々へ届けられます。

ご協力いただいた先生・生徒・保護者の皆様、地域の方々ありがとうございました。